

2023年3月JIS規格改正に対する 当協会発行テキスト(全検定対応)の変更内容について

既制服のパターンメイキングには、人体の標準寸法としてJISサイズの知識、身体の部分的サイズと採寸箇所について、衣服に含まれるゆらみと製品の仕上がり寸法に関する知識が必要です。

A JIS規格サイズとは

JIS（日本産業規格）のL4005に規定された成人女子用衣料のサイズは、既制服を作るために必要な日本の標準サイズを理解するための重要な資料です。

従来の衣料JISサイズは1985年から使用されていたもので、体格調査の結果として年々の体格の向上に合わせた手直しが必要となり成人男子用衣料サイズが1996年、成人女子用衣料サイズが1997年に改正されました。

2023年には、衣料品販路のグローバル化、多様性に伴い、サイズに関する規格が改正されました。

B JIS規格サイズの概要

JIS規格によるサイズ表示は衣服の寸法ではなく、対応する身体寸法を基準にして組み立てられた基本身体寸法をいい、用いられる体型部位はバスト・ウエスト・ヒップ・身長となります。

サイズの表し方の種類は次のようになります。

(1) 体型区分表示

日本人成人女子の身長を142cm（記号：PP）、150cm（P）、158cm（R）、166cm（T）に区分し、かつ、バスト74cm～92cmを3cm間隔で、92cm～104cmを4cm間隔で区分したとき、それぞれの身長とバストとの組み合わせにおいて出現率が最も高くなるヒップサイズで示すひとの体型を表示する方法です。

例えば、標準サイズとされる「9R」の意味として、「9」がバスト＝83cm（ヒップ＝91cmの意味も含む）「R」が身長＝158cmということになります。

なお、JISL4005:2023では旧規格におけるバストとヒップのバランスをあらわすA体型、AB体型、B体型及びY体型の体型区分はほとんど使われていないため削除されました。

(2) 単数表示

フィット性を重視しない服種やデザインの場合、必要な身体部位の寸法または記号を表示する方法です。

例えば、バスト寸法と身長記号の表示は「9R」（体型区分表示と同）、ウエストとヒップの表示は「64—91」、ヒップ基準によるバストの単数表示は「9M」でバスト83、ヒップ87～95となります。もちろん、バスト、ウエスト、ヒップそれぞれ単体に表示することもあります。

(3) 範囲表示

着用できる人の身体寸法を範囲（下限値～上限値）で表示する方法です。

例えば、「M バスト 79～87cm ヒップ 87～95cm 身長 154～162cm」となります。身長 154 cm～162 cmでは、サイズを表すアルファベットはS Sから6 Lまで9サイズで表すことができ、グローバル化やインバウンド対応などユーザーニーズの多様化に適應できるように2023年から変更されました。なお、身長 154 cm～162 cmの範囲外でもこの範囲表示を用いることができます。

C 成人女子用JIS規格サイズ表の例

(1) 体型区分表示（身長標準サイズ：158 cmのバスト及びヒップによる体型区分表示）

呼び方		3 R	5 R	7 R	9 R	1 1 R	1 3 R	1 5 R	1 7 R	1 9 R
基本 身体 寸法	バスト	74	77	80	83	86	89	92	96	100
	ヒップ	85	87	89	91	93	95	97	99	101
	身長	158								
参考	ウエスト	58	61	61	64	67	70	73	76	80

※上記のウエスト寸法は10代・20代の場合で、年代が上がると大きめに設定されています。

(2) 単数表示（ヒップ基準によるバストの単数表示）

呼び方		3 S	5 S	7 S	9 S	7 M	9 M	1 1 M	
基本 身体 寸法	バスト	74	77	80	83	80	83	86	
	ヒップ	82～90				87～95			
呼び方		9 L	1 1 L	1 3 L	1 5 L	1 5 L L	1 7 L L	1 9 L L	2 1 L L
基本 身体 寸法	バスト	83	86	89	92	92	96	100	104
	ヒップ	92～100				97～105			

(3) 範囲表示（身長 154～162 cm）

呼び方		S S	S	M	L	L L	3 L	4 L	5 L	6 L
基本 身体 寸法	バスト	65～73	72～80	79～87	86～94	93～101	100～108	107～115	114～122	121～129
	ヒップ	77～85	82～90	87～95	92～100	97～105	102～110	107～115	112～120	117～125
	身長	154～162								
	ウエスト	52～58	58～64	64～70	69～77	77～85	85～93	93～101	101～109	109～117

この表の基本の身長の範囲は 154 cm～162 cmであるが、この身長の範囲外で表の基本身体寸法を用いる場合には、衣料の製造業者が対応する身長を範囲で表示する。

D その他のJIS規格表示

2023年の改定では、男女兼用サイズの規定が追加されました。これは、SDGs（持続可能な開発目標）の観点及びユーザーニーズの多様性に対応するものです。ただし、男女兼用サイズの市場は、成熟していないため、基本寸法は記入せず、「男女兼用」と表記したうえで、呼び方と衣料製造業者で許容範囲とする値を表示することになりました。

E 身体用語の変更について

JISL0111：2023 ではショルダーポイントが肩峰点に置き換えられたが、業界の慣習に従い本テキストではショルダーポイントを用いる。